

# 浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年4月期調査結果（2023年6月発表分）

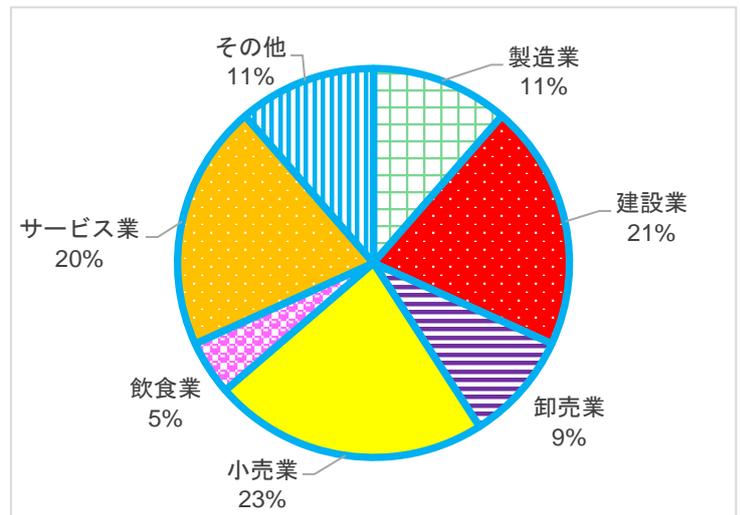
浜松商工会議所

## 調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は44名（回答率は68.8%）

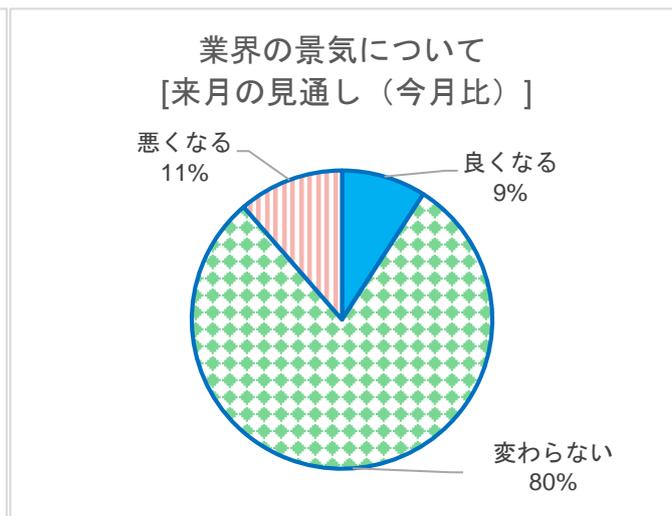
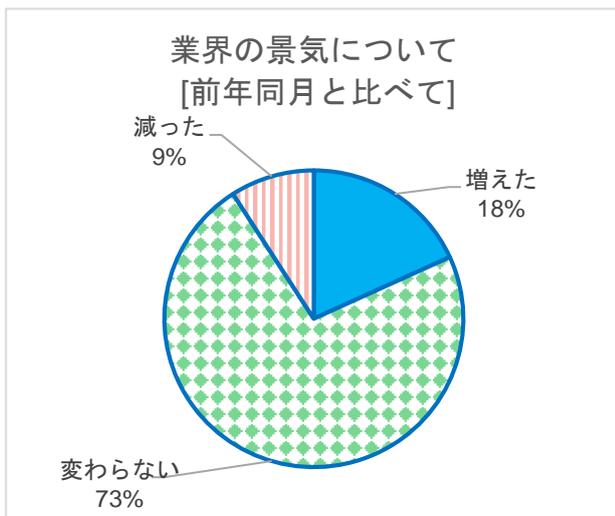
業種	回答者数	構成比
製造業	5	11.4%
建設業	9	20.5%
卸売業	4	9.1%
小売業	10	22.7%
飲食業	2	4.5%
サービス業	9	20.5%
その他	5	11.4%
計	44	100%



## 調査結果のポイント

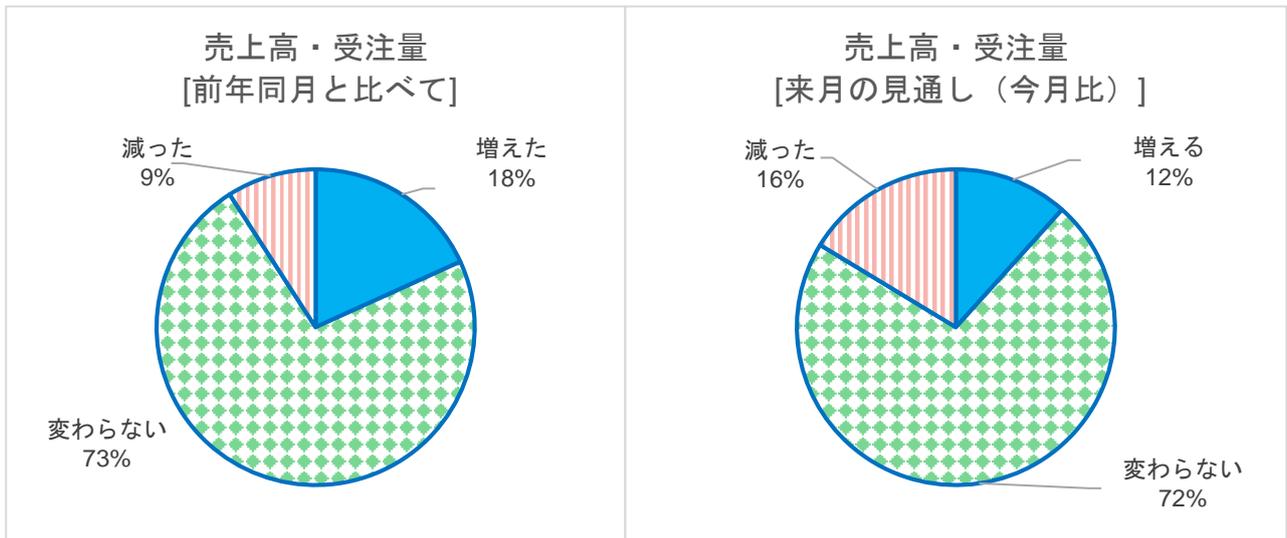
### <景況>

- ・2023年4月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が18.2%、「変わらない」が68.2%、「悪くなった」が13.6%となりました。
- ・2023年5月以降の見通しについて、4月と比較して、「よくなる」が14.6%、「変わらない」が65.9%、「悪くなる」が19.5%となりました。



### <売上高・受注>

- ・2023年4月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」18.2%、「変わらない」が72.7%、「減った」が9.1%となりました。
- ・2023年5月以降の見通しについて、4月と比較して、「増える」が11.6%、「変わらない」が72.1%、「減る」が16.3%となりました。



### 【景気動向 DI（毎月版）】

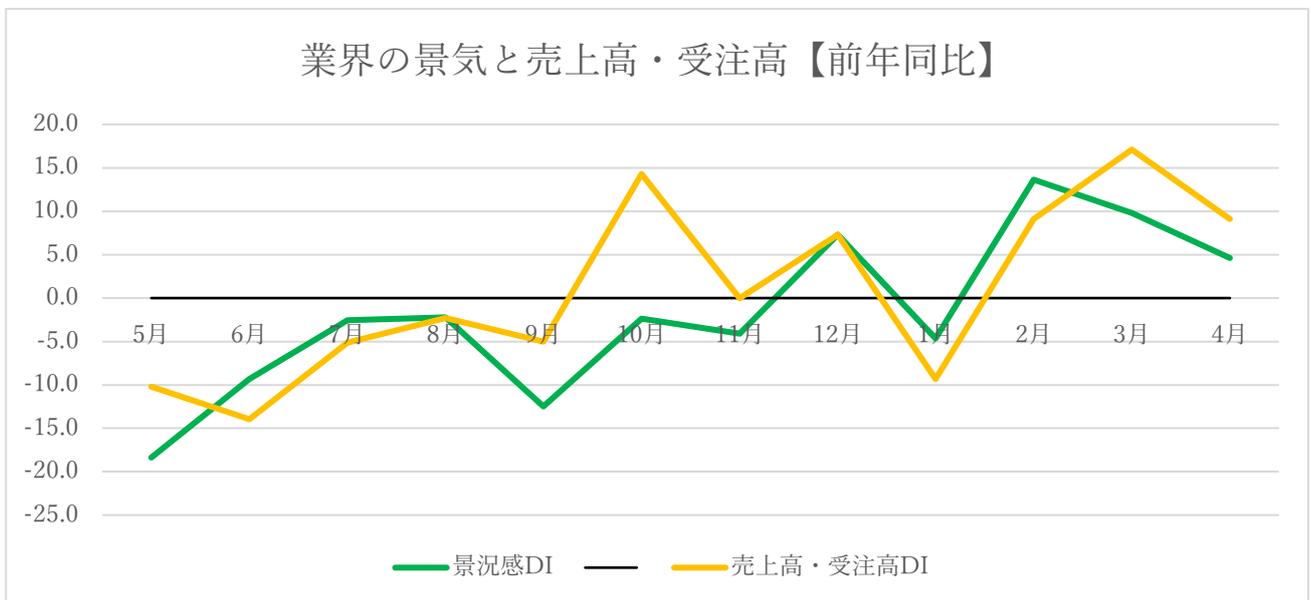
<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI（ティフュージョン・インデックス）…前年同月比または前期比で「よくなった（よくなる）」と「悪くなった（悪くなる）」と回答した企業比率を引いた数値。

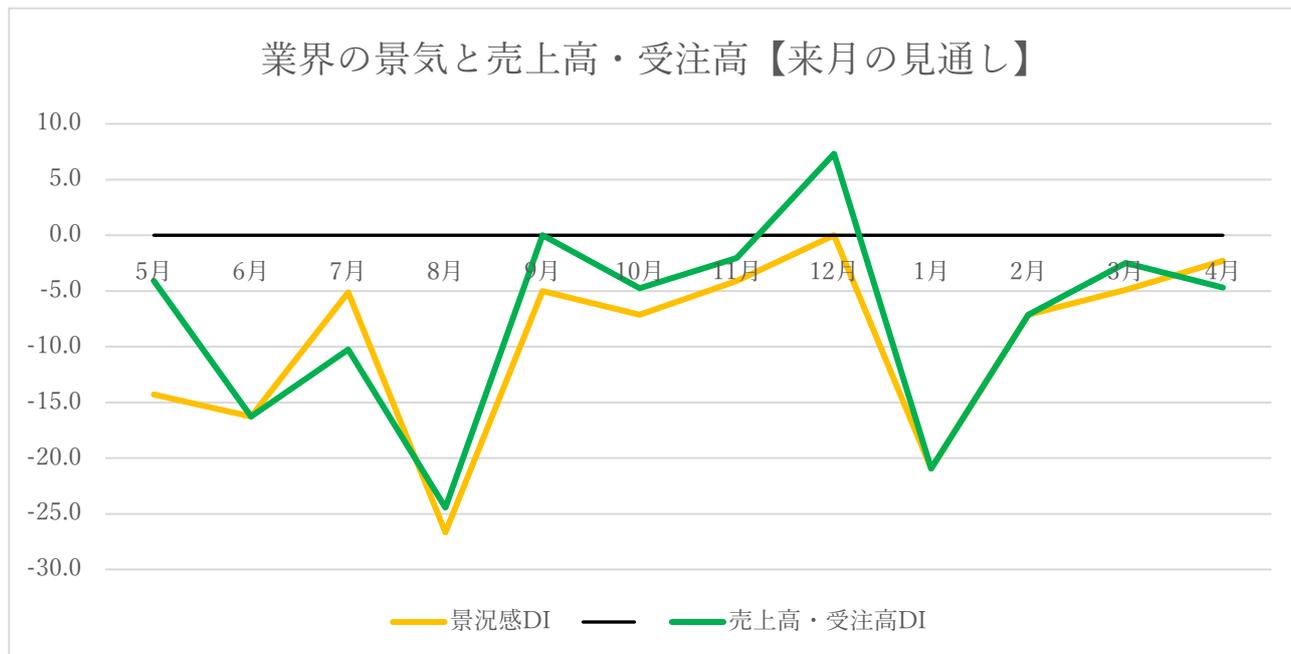
⇒0より上ならば「よくなった（よくなる）」と回答した人が「悪くなった（悪くなる）」と回答した人が多いことを意味します。

2022年4月からの景況感と売上高・受注高（前年同月比）は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
景況感DI	-18.4	-9.3	-2.6	-2.2	-12.5	-2.4	-4.1	7.3	-4.7	13.6	9.8	4.6
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
売上高・受注高DI	-10.2	-14.0	-5.1	-2.3	-5.0	14.3	0.0	7.3	-9.3	9.1	17.1	9.1

2023年4月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について[来月の見通し(今月比)]												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
景況感DI	-14.3	-16.3	-5.1	-26.7	-5.0	-7.1	-4.1	0.0	-20.9	-7.1	-4.9	-2.3
売上高・受注量 来月の見通し(今月比)												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
売上高・受注高DI	-4.1	-16.3	-10.3	-24.4	0.0	-4.8	-2.0	7.3	-20.9	-7.1	-2.5	-4.7

#### 【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと	
製造業	事業協同組合 (ものづくり)	人件費の増加と人材不足に悩んでいる。
	事業協同組合(鍍金)	原材料高により、非常に厳しい状況。
	事業協同組合(機械)	製造業中小企業者のコロナ禍による通称ゼロゼロ金利の融資の返済がスムーズにいくかが課題。
建設業	土木工事業	4-6月は業界として少し落ち着く時期となり、安い見積を出す業者には価格で勝てない。価格以外の付加価値の必要性を感じている。
	一般土木建築工事業	人手不足状況は改善せず。
	経営コンサルタント	免税事業者の1人親方のインボイス問題。
	電気配線工事業	材料値上げと納期が遅れ、工事が順調に進まない。
	木製家具(製)	官の物件の発注が少ない。
卸売業	農産物 (卸・加工)	新型コロナウイルスの影響が薄れ飲食店様からの注文が順調に回復してきた。
	鑄材(卸)	工作機械などの製造機類の受注が減少している。
	菓子材料(卸)	浜北エリアでの新規オープンが多く、活気を感じる。競争も激しくなるので、生き残るためには独自性、強みを持つ必要がある。
	菓子材料(卸)	鳥インフルエンザによる卵不足の影響が大きい。また牛乳の生産

		調整により酪農離れが起きていることでの長期的な影響が懸念される。物価高による商品価格の上昇と、制限のないGWの影響が いい面、悪い面といろいろ出ているように感じている。
小売業	自動車タイヤ(小)	タイヤ価格は昨年2回の値上げに続き、今年も4月より再値上げ。昨年は駆け込み需要があったが、今年は殆ど動きが無く、諦めムードが漂っていた。燃料費の高騰も併せて企業の経費増はかなり業績に影響を与えている。
	燃料(小)	給湯器等ガス器具の納期遅延が、一部を除き解消された。
飲食業	茶(加・小)	新茶が始まったが市場と相場的に、茶業の農家への値上げはなかった。
サービス業	社会保険労務士	精神疾患を発症又は兆候が認められた者への対応について、対策を検討するケースが増えてきた。
	実業団体(税務)	価格の高騰による利益の減少、インボイス制度の導入等により、高齢事業者が廃業を考えはじめている。
	警備業	様々な催し物の開催が多くなり、それに伴う警備業務も多くなった。
	社会保険労務士	町工場の人手不足が深刻。募集しても人が集まらない。残業を減らしたくても減らせず、人材を育てられない悪循環が続く。
	税理士	新幹線を利用したインバウンド客が多い。
	司法書士	相続登記の義務化の影響で相続登記の相談が増加している。
	一般貨物自動車運送業	成車メーカーの稼働がまだ回復してきていない。コロナの影響による景気後退が長引いている。また2024年問題に向けて、人手不足の深刻化と値上げをしにくい体質が業界にある。
その他	事業協同組合(石油)	石油価格は政府の補助もあり安定している。4月の販売数量は前年より微増、通常に戻ったゴールデンウィークに期待。

■新型コロナウイルス感染症の影響	
経営コンサルタント	コロナによる影響はほとんどなくなった。
茶(加・小)	食のライフスタイルも以前に戻り、テイクアウトの注文が極端に減る。テイクアウトはやめようかと検討中。
一般貨物自動車運送業	直接的な影響はなくなったが、まだ完成車メーカーの生産回復には至っていない。
事業協同組合(機械)	コロナウイルスの5類への分類により やっとコロナ禍が終わって日常を取り戻した感がある。
楽器(製)	新型コロナウイルスの影響により、売上が低空飛行を続けていたがその影響も少しずつ減ってきたように思える。
■物価高騰・円安の影響	
楽器(製)	物価高騰についてはいまだに落ち着くことはないように思える。生活関連雑貨等も相当な値上げが続いている中で財布のひもが相当硬くなっているように感じるが、大河ドラマ関連での消費はすさまじく、浜松での景気回復に一役買ってくれると思う。
事業協同組合(鍍金)	エネルギー及び原材料高により、非常に厳しい状況。
土木工事業	建設資材が高騰している。

一般土木建築工事業	物価高の影響は依然続いており、資機材の仕入れ値は高止まり、または上昇傾向。
鑄材(卸)	円安からの物価高が経済全体に影響している。
税理士	コロナが第5類に移行するため、今後経済が活性化しそう
一般貨物自動車運送業	燃料については高値安定、冷凍倉庫の電気料金は高騰が続いている。
■インボイス制度への対応	
一般貨物自動車運送業	多少バタバタしたが、請求書の振込手数料の件は良い方向に変わってホッとしている。
■その他	
警備業	有効求人倍率の高いことが表すように、新規採用ができていない。
社会保険労務士	欧米では規制の動きもあるチャット GPT だが、元々曖昧な言い回しを多く含む日本語で精錬されていけば、かなり有能な相談相手になっていくのではないだろうか。
一般貨物自動車運送業	インフレが人件費高騰へつながり春闘が厳しくなっている

以上